取扱説明書　簡易取り付け型　保管用

白熱灯シ-リング
(天井付専用型)

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕様

品番	適合電球
ＬＥ－３１７３	Ｅ１７ PSクリプトン電球 １００ｗＸ３灯
ＬＥ－３１７５	Ｅ１７ PSクリプトン電球 １００ｗＸ４灯

この取扱説明書のマ-クについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマ-クについている説明文は、必ず守ってください。
⊘ このマ-クについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

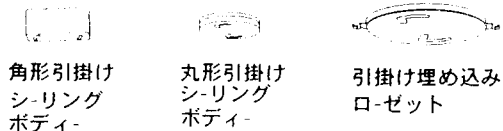
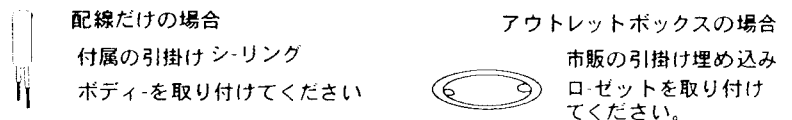
● 取り付け　取扱い上の注意

すぐ取り付けられます

角形引掛けシ-リングボディ-　丸形引掛けシ-リングボディ-　引掛け埋め込みロ-ゼット

配線器具の取付工事が必要です

配線だけの場合
付属の引掛けシ-リングボディ-を取り付けてください

アウトレットボックスの場合
市販の引掛け埋め込みロ-ゼットを取り付けてください。

⚠警告

⊘ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

⊘ 樹脂製ボックスカバ-には取り付けないで下さい。
★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛けシ-リングボディ-の取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。

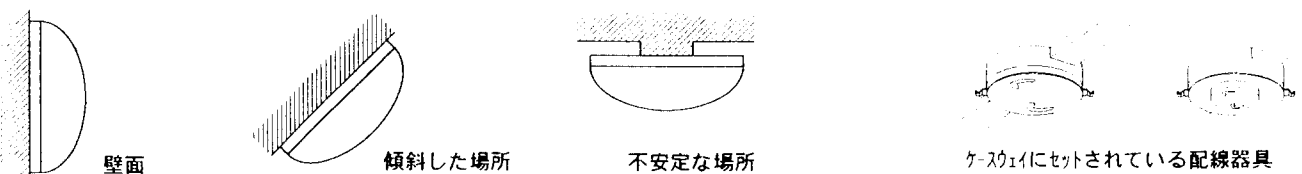
⊘ 一般屋内用器具です。屋内や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電や感電事故の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。★器具の落下事故の原因となります。

壁面

傾斜した場所

不安定な場所

ケ-スウェイにセットされている配線器具

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバ-の変形や火災の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

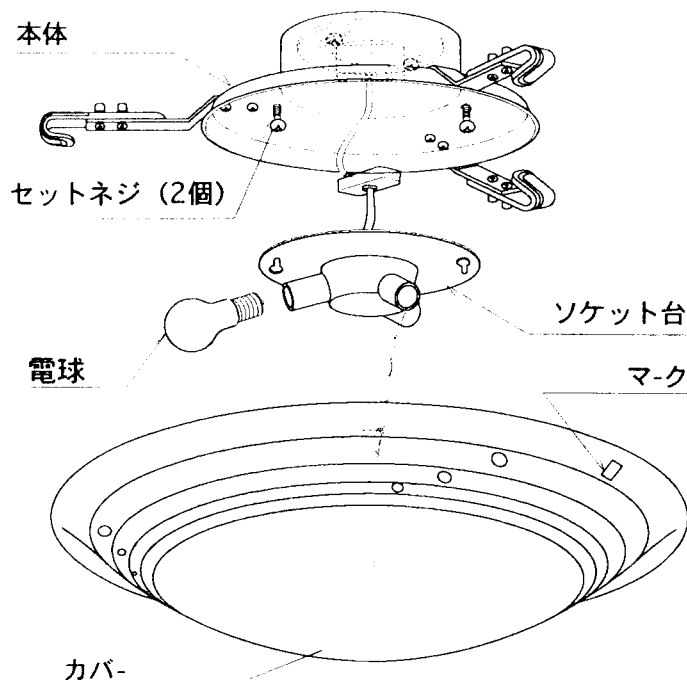
❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

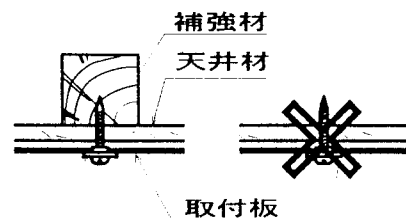
■ 器具構成図

■ 付属品

角型引掛シーリング（ボディー） 1個
木ネジ（シーリングボディー用） 2本
座付木ネジ（取り付け金具用） 2本
ローゼット用ネジ（取り付け金具用） 2本
LE－3173 E17 PSクリプトン電球（ホワイト）100W 3個
LE－3175 E17 PSクリプトン電球（ホワイト）100W 4個
取扱説明書（本書） 1枚

● 取り付け場所の確認

⚠ 警告

❗ 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

● 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

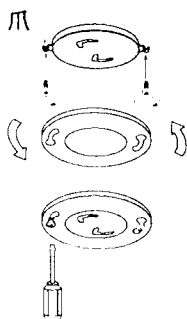
1、取り付け金具のセット

A：引掛け埋め込みローゼットが天井についている場合

引掛け埋め込みローゼットの爪を利用して取り付けます。

① 引掛け埋め込みローゼットの爪に付属のローゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます。

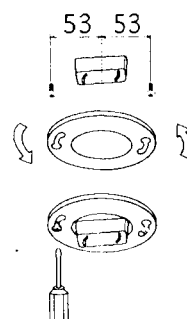
② 取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ ネジが溝の中心付近に来たらネジをしっかり固定します。

B：角（丸）型の引掛シーリングボディーが天井についている場合

付属の座付木ネジを利用して取り付けます。

① 引掛けシーリングボディーを中心に左右53mの位置に木ネジを3分の1ほどねじ込みます。

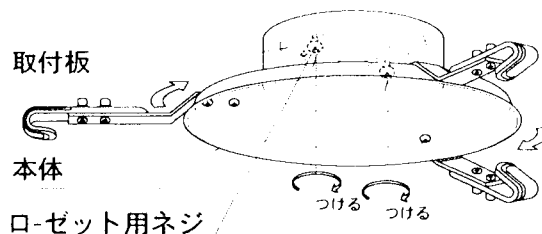
② 取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ ネジが溝の中心付近に来たらネジをしっかり固定します。

2、本体の取り付け

①ロ-ゼット用ネジの頭を本体のダルマ穴に通します。

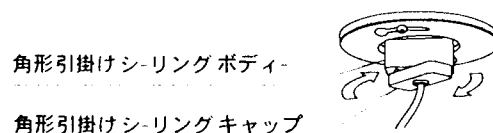
②本体を右に回し、ネジの頭が溝の中央付近に来たら
　ネジをしっかり締め込み固定します。

⚠ 注意

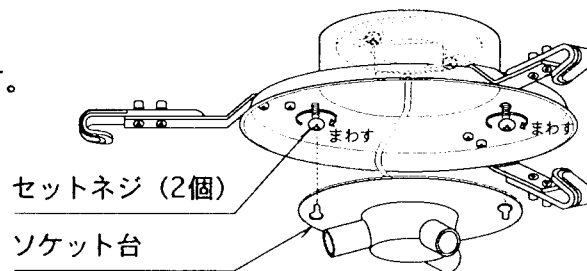
★カバ-の破損、落下の原因となります。

3、引掛けシ-リングキャップを接続します。

引掛けシ-リングキャップを引掛け埋め込み
ロ-ゼットまたは引掛けシ-リングボディ
に差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。

角形引掛けシ-リング ボディ-

角形引掛けシ-リング キャップ

4、ソケット台の取り付け。

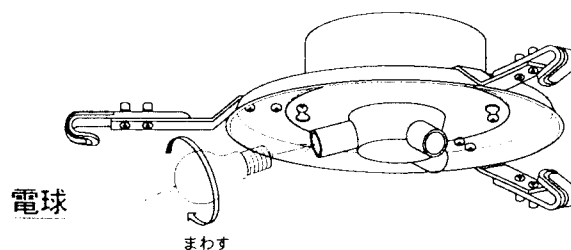
①ソケット台のダルマ穴に本体のセットネジを通します。

②ソケット台を時計方向に止まるまで回転させてから。
　セットネジを締め込み固定します。

5、電球をセットします。

電球をソケットにねじ込みます。

⚠ 注意

電球は乱暴に扱わないでください。

☆電球が割れて怪我をする恐れがあります。

6、カバ-を取り付けます。

①ア-ムの調節ナットをゆるめて左側
　いっぱいまでスライドさせます。

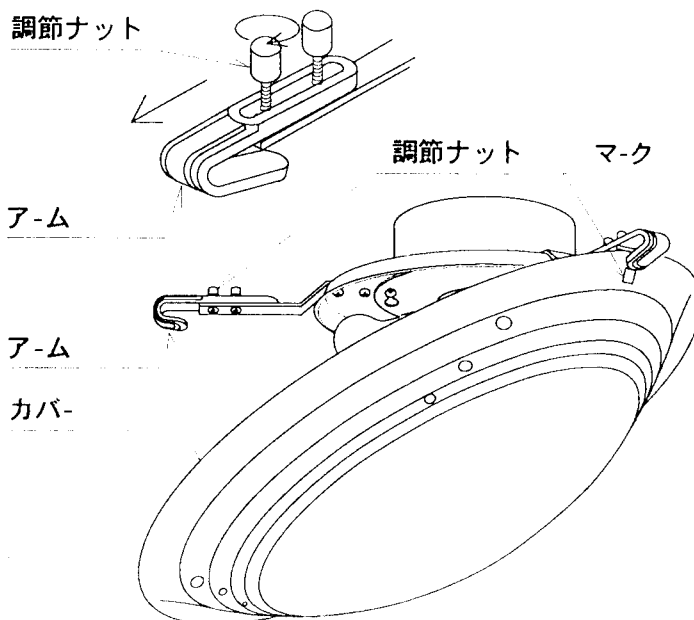
②カバ-を他の2本のア-ムにのせます
　ゆるめておいたア-ムをカバ-の
　マ-ク位置に合わせて差し込み
　調節ナットで締め込み固定します。

調節ナット

ア-ム

調節ナット　マ-ク

ア-ム

カバ-

⚠ 注意

⃠ カバ-の取り付けが不十分な場合はカバ-の
落下によるけがの原因となります。

❗ カバ-にヒビが入っていたり、
一部が欠けている場合には、ただちに新
しいカバ-と交換してください。

★カバ-の破損、落下の原因となります。

● スイッチ操作

壁スイッチにて　ＯＮ-ＯＦＦ　操作を行います。

●お手入れについて ⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

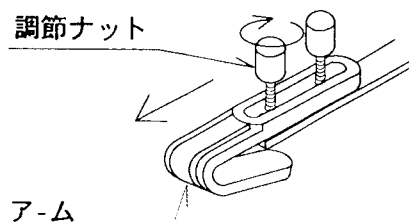
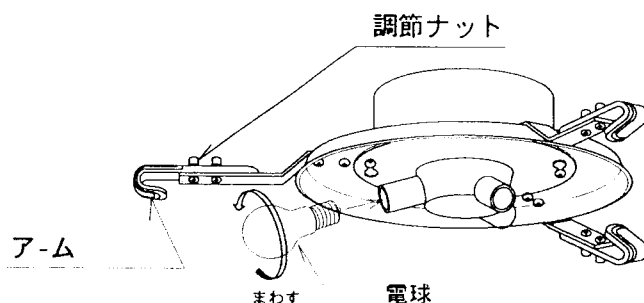
● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球は熱くなつています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。　★火傷の原因となります。
● 濡れた手で触らないでください。　★火災や感電事故の原因となります。

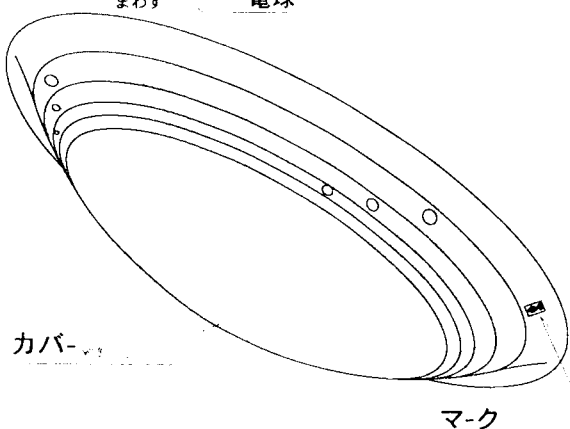
● 電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れて怪我をする恐れがあります。
● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■電球の交換

1　スイッチを切ります。

⚠ 注意
⃠ 電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2　カバ-を外します。
①片手でカバ-をささえ調節ナットをゆるめて
ア-ムを左側いっぱいまでスライドさせて
カバ-をア-ムから取り外します。

3　電球を交換します。

⚠ 注意
⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

4　カバ-を取り付けます。
（取り付け方　の「6」をご参照ください。）

■お手入れのしかたについて

① スイッチを切ります。
② 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③ 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④ 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明営業窓口にご相談ください。